

無料

“死ぬこと”から考える、 生き方

生きることに向きになれる話は多いものです。生きることは素晴らしい！
では、死ぬことは…？
“死ぬこと”を悪、あるいは終わり（エンド）と、多くの人が無自覚に意識しているため、「勝ち負け」という発想が生まれるのではないのでしょうか。
人は必ず死にます。しかも、それがいつかは誰にもわかりません。そして、死は一つの通過点に過ぎません。それが真に理解できた時、未来からも開放されて、心穏やかな生が見えてきました。
流通ジャーナリスト金子哲雄の生と死、そして死後を通して理解したことをお話しします。

日時 **平成27年11月21日(土)**
14:00~16:00(開場 13:30~)

場所 **ホール田園** (紀の川市役所南別館)

ライフ・ターミナルネットワーク代表
かねこ わかこ

講師 **金子 稚子 先生**

主催 **医療法人 共栄会 名手病院**

共催 **那賀医師会
那賀圏域医療と介護の連携推進協議会**



金子 稚子氏プロフィール

静岡県出身
ライフ・ターミナルネットワーク代表
2012年10月に亡くなられた流通ジャーナリスト金子哲雄氏の妻。
前職である雑誌・書籍の編集や広告制作の経験を活かし、誰もがいつかは必ず迎える「その時」のために、情報提供と心のサポートを行うべく活動中。
夫の死後、小学館から出版された『僕の死に方 エンディングダイアリー 500日』(金子哲雄著)でも執筆並びに編集制作補助に携わった。



①命はめぐる
～朗読劇「葉っぱのフレディ」～(那賀圏域の取り組み)
那賀圏域医療と介護の連携推進協議会
坂口内科 院長
坂口 健太郎 先生
サンババの会

② “死ぬこと”から考える、生き方
ライフ・ターミナルネットワーク代表
金子 稚子 先生



医療法人 共栄会
名手病院